①	**横松　丈志、**　　74 歳、　　第４講座、吉田　浩二先生
②	株式会社　島津製作所　精機事業部　五条工場　電機部　（京都）
③	会社での前半の約 18 年間は、上記工場技術課で高／低周波誘導、誘電加熱、非破壊検査などに係わり、主に鉄鋼メーカー（新日鉄、川鉄、住金、神戸製鋼）巡りをしたが、入社以来ずっと赤字続きの工場で、事業部自体が消滅した。 後半の約 18 年間は、航空事業部（京都）に引き取られ、自衛隊の戦闘機やヘリコプター、ボーイングの民間機の電気／機械（試作）部品の量産前の実使用耐久試験の実施や、その成績書の作成（品質管理）等で、自衛隊、三菱重工、川崎重工やその関連会社に出入りした。その間にも、最近少し注目されだした工場施設内での食物栽培や種子島の H2 ロケットにも少し関係した。
④	府大受験の一年目に、金属工学科から合格の連絡を受け、某教授に面会をお願いし、卒業後の就職先を聞いたところ、「運が良ければ、新日鉄などの大手、悪ければ町の鋳物やさん」と言われ、「やはり電気に再挑戦します。」と断念し、2 浪もして電気科を出たのに、18 年間も金属メーカに係わるのであれば、金属工学科に入学しておけばと、考えることがある。 しかも、川鉄水島工場で固着式層間マグナ（探傷機）に係わって、半年間悪戦苦闘の末、装置の大半を引き揚げる羽目になり、事業部の解散とも重なり、私の会社人生は終わったと思った。しかし。金属工学科に入学していれば、皆さんとはお会いできてないとも思う。
⑤	定年 60 歳を目前に、島津総研新設の計画があり、特許手続き事務の誘いを受け、65 歳まで直下請けをした。その後は、全くの無職の状態である。
⑥	サンデー毎日の状態で、昨年夏以降腰痛が酷くなり、家内に追い立てられながら、週２～３回程度は川辺を散歩して水鳥等を観察し、週末はプールに通っている。
⑦	数年来、96 歳の半認知症の母親に係わっていて、10 年間程遠出が出来ていないので、出来ればジムに通って節制して、旅行をしたいと願っている。
⑧	

①	**吉田　哲郎**　　（７２歳）　　（卒論：　第 2 講座　秦常造教授）
②	（株）日立製作所多賀工場商品設計部機械設計課開発係配属（茨城県日立市）
③	‘61/4-‘68/3:上記②（業務用ドライクリーナーの設計に従事）、‘64/5 結婚、’65/6 長女誕生、’67/4 長男誕生 ‘68/4-‘71/4:ドイツジュッセルドルフ駐在（技術アッタッシェとして技術情報の収集に従事） ‘71/5-‘80/3:多賀工場にてポーランドへのモーター製造プラント輸出取り纏め ‘80/4-‘84/4:香港に日立工業機械（香港）有限公司を設立し社長として駐在 ‘85/5-‘07/2:日立製作所の系列会社日本サーボ（株）（本社：東京都千代田区神田、主工場：群馬県桐生市）に移り、海外業務統括を担当
④	‘87/7 交通事故に遭い、右脚骨折 2 か月の入院。退院後リハビリに山登りを始めた。登山は高血圧症にも良いので、自然と親しむ登山が趣味となった。
⑤	‘99/2 満 60 歳で定年となるも、そのまま引き続き安全保障輸出管理を主とした海外業務統括担当を続け、‘07/2 満 68 歳でリタイヤーした。 リタイヤ―後は完全に仕事を離れ、夫婦二人の年金生活です。 子供二人にそれぞれ二人づつ計 4 人孫ができた。現在、一番上は高２女子、一番下は小５男子です。
⑥	夫婦で山登りなどをしているが、趣味は野鳥、野草、昆虫、野生動物にも興味が湧いて双眼鏡や拡大鏡で観察するとともにカメラに収めて気に入った写真をアルバムにしています。自分で撮った花鳥虫獣の写真に、それを詠んだ古来からの俳句、和歌、詩歌、漢詩、唄などを見つけて、一緒にアルバムに貼り付けて楽しんでいます。
⑦	今まで入院手術をしたのは④の交通事故以外にもいろいろあり、現在も病気を抱えておりますが、私の今後の生活は、妻と二人で、体力の続く限り、自然と親しみ、悔いのない人生を全うすることです。雨降れば雨を楽しみ、晴れる日は晴れを楽しんで過ごしていきたいと思います。
⑧	人間は他の動物と同じく、この世で生まれ、結婚して子供を作り、死んでいくというのがその一生ですが、卒業 50 周年を振り返ると、遠き昭和のまぶしい時代を懐かしく思います。同期の皆様のご健康とご多幸を祈ります。